

ネットワークコンフィグレータ WS02-CFSC1-J/EV3 Ver.3.31 リリースノート

ネットワークコンフィグレータ(型 WS02-CFSC1-J/EV3) Ver.3.31 のバージョンアップ内容をご案内します。

1. Ver.3.30 からVer.3.31 へのアップデート内容

ネットワークコンフィグレータ Ver.3.30 から Ver.3.31 のアップデート内容は以下のとおりです。
Ver.3.30 以前のバージョンアップ内容についてはマニュアルをご参照ください。

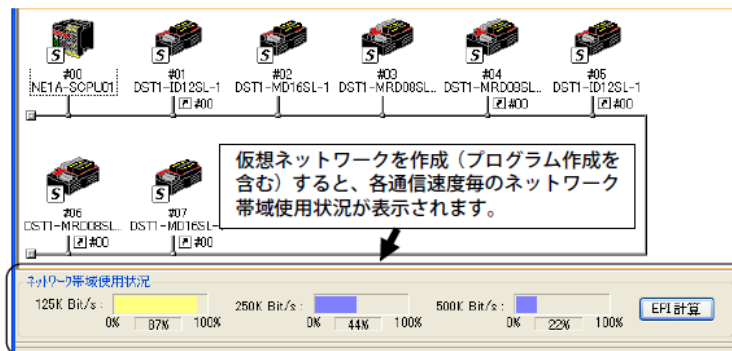
1.1. ネットワーク帯域使用率計算式の改善

ネットワークコンフィグレータの機能の一つとして、システム構成および通信設定を元に、セーフティ I/O 通信およびスタンダード I/O 通信量の理論値を元にネットワーク帯域使用状況を参考として計算・表示する機能があります。

Ver.3.31 において、スタンダード I/O 通信量の計算式(理論値)の精度を上げることにより、実際の通信量との誤差を低減しました。これにより、以下 2 点の機能に影響があります。

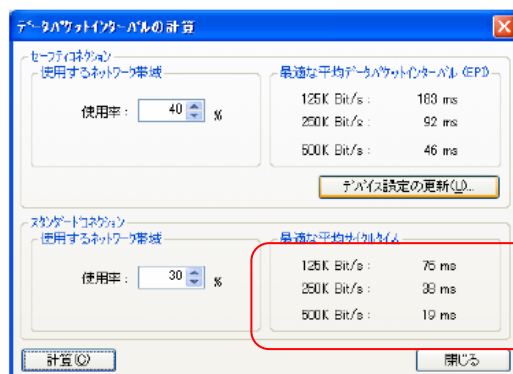
1. ネットワーク帯域使用状況表示

ネットワーク構成ウィンドウの下部に表示されるネットワーク帯域の使用率の値が変わります。そのため、Ver.3.30 以前のバージョンで設計したプロジェクトファイルを Ver.3.31 で読み込むと、帯域使用率が 100% を超えて表示される場合があります。
ここで表示される使用率はあくまで理論値ですので、実際のシステムでテストを行い、設定した値に問題がないことを確認してください。



2. EPI計算機能

EPI 計算機能において、スタンダード IO 通信で使用するネットワーク帯域から計算されるの「最適な平均ネットワークレイテンシー」の計算結果の精度が向上します。これにより、旧バージョンの計算結果と異なる場合があります。



1.2. Ethernet→CS/CJ1 ETN-DRM Unit I/F設定範囲の拡張

ネットワークコンフィグレータとシステムを接続する通信インターフェースの一つである「Ethernet → CS/CJ1 ETN-DRM Unit I/F」のインターフェース設定画面において、「ホスト(PC)情報」の「ノードアドレス」の設定範囲の上限を 126 から 254 に拡張しました。オムロン製 Ethernet ユニットの FINS アドレスの拡張に伴う変更です。

ネットワークコンフィグレータの[オプション] | [インターフェースの選択]で「Ethernet → CS/CJ1 ETN-DRM Unit I/F」を選択します。

次に [ネットワーク] | [接続] メニューを選択した後にインターフェースの設定画面が表示されます。以下の設定画面において、「ホスト(PC)情報」「ノードアドレス」の設定値上限が 126 から 254 まで設定可能になります。

The screenshot shows a dialog box titled "接続先の登録" (Register Connection). It contains several sections for configuring connection details:

- 登録名:** etn
- ホスト(PC)情報:**
 - ネットワークアドレス: 0
 - ノードアドレス: 254 (highlighted with a red box)
- リモート情報:**
 - EtherNet/IP Unit
 - ネットワークアドレス: 1
 - ノードアドレス: 2
 - 高性能ユニットNo.: 15
 - Ethernet Unit
 - ポートNo.: 9600
 - IPアドレス: 192 168 250 100

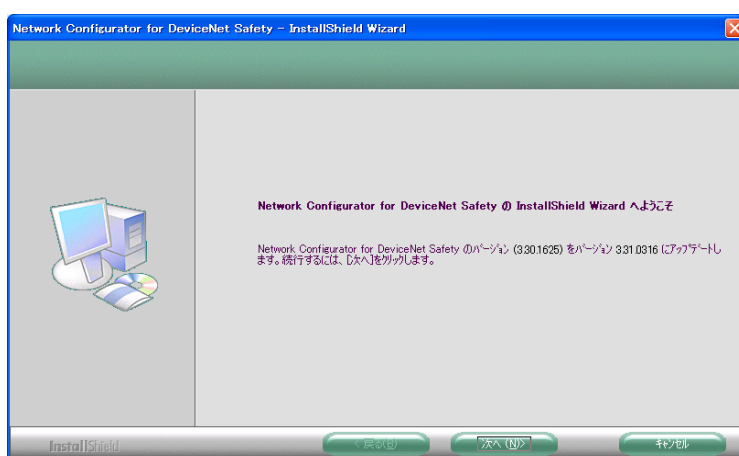
At the bottom, there are buttons for "登録" (Register), "削除" (Delete), and "閉じる" (Close). On the right side, there is a table titled "登録接続先一覧" (Registered Connection List) with columns for "登録名", "ノード", "ユ.", "ポート", and "IPアドレス".

2. アップデート方法

ネットワークコンフィグレータを Ver.3.31 へアップデートする方法を説明します。
アップデートには、Ver.3.30 がインストールされていることが必要です。
Ver.1□、Ver.2□は対象外です。

2.1. アップデート手順

1. アップデートモジュールの実行
(NetworkConfigurator_for_DeviceNet_Safety_v3.31.0316_Update_Jp.exe) を実行します。
下記のような画面が表示されます。



2. 画面の案内に従い、インストールを行ってください。
3. 下記の画面が表示されると、インストールは完了です。



2.2. インストール確認方法

■ Windows XPの場合

「コントロールパネル」 → 「プログラムの追加と削除」画面で、「Network Configurator for DeviceNet Safety v3」を探します。

上記の「サポート情報」で「3.31.0316」と表示されていれば、正しくソフトウェアが更新されています。

■ Windows Vistaの場合

「コントロールパネル」 → 「プログラムと機能」画面で、「Network Configurator for DeviceNet Safety」を探します。「プログラムと機能」画面で「詳細ペイン」が表示されていない場合は、[整理][レイアウト][詳細ペイン]の順に選択します。

詳細ペインの製品バージョンに「V3.31.0316」と表示されていれば、正しくソフトウェアが更新されています。

■ Windows 7 の場合

「コントロールパネル」 → 「プログラムと機能」画面で、「Network Configurator for DeviceNet Safety」を探します。Vista と同様、詳細ペインの製品バージョンに「V3.31.0316」と表示されていれば、正しくソフトウェアが更新されています。